

都市緑化
フォーラム
2019

市民に向けた 都市緑化技術の情報発信の 今後のあり方について

平成の時代に大きく整備面積を増やし、日本中に普及した屋上緑化や壁面緑化技術は、一般市民に身近なものとして捉えられるようになりました。また、ユニバーサルデザインなどの言葉も、市民に身近な言葉としてごく普通に用いられるようになりつつあるなど、都市緑化に関する話題は一般の市民の身近なものになりつつあります。都市緑化は多くの市民との協力で実現するものであり、私共の研究成果をどのようにすれば十分に伝えることができるのか、検討すべきことが多くあるのではと考えられます。

本フォーラムでは、有効な情報発信の方法のために工夫するべき点について山田泰久先生に基調講演をいただくとともに、当機構及び当機構内に設置されている5つの共同研究会の成果のうち市民の皆様にお伝えしたい都市の緑の役割に関する関係調査研究の成果、また、都市緑化機構による調査研究助成から1件の助成対象論文の発表を行います。

日 時 令和元年12月5日（木）13：00～16：35（受付開始 12：45～）

会 場 日比谷コンベンションホール（東京都千代田区日比谷公園1-4 旧都立日比谷図書館）

参加費用 無料

申込締切 定員（200名）になり次第、締め切らせていただきます

造園CPD 造園CPD認定プログラム（予定）

基調講演

市民に向けた有効な「情報発信（SNSの活用）」をするために

特定非営利活動法人CANPANセンター 代表理事 山田 泰久

研究発表

① もっと涼しく。樹木の最適な大きさ、形とは

公益財団法人都市緑化機構 研究部 主任研究員 手代木 純

② かまどベンチが引き出す、市民の防災意識

防災公園とまちづくり共同研究会

③ 「SEGES（シージェス）」、街ナカみどりの活用例

公益財団法人都市緑化機構 企画調査部 参事 柳本 剛広

④ 人と自然、人と人、人と健康をつなぐ「エディブルガーデン」

特殊緑化共同研究会 副運営委員長 豊田 幸夫

⑤ 歩道をグリーンインフラに ～雨水を貯める貯留浸透基盤の技術～

グリーン・ビジネス・マネジメント共同研究会 梶川 昭則

⑥ 都市化が緑地土壌の物質循環に与える影響【都市緑化機構調査研究助成対象論文】

千葉大学大学院 園芸学研究科 博士後期課程2年 人見 拓哉

⑦ 公園をあるこう ～ユニバーサルデザインの楽しみ方～

ユニバーサルデザイン共同研究会 運営委員長 今野 恵雄

都市緑化
フォーラム
2019

市民に向けた 都市緑化技術の情報発信の 今後のあり方について

申 込 書

令和1年 月 日

都市緑化フォーラム2019事務局 宛

申込み・問合せ先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4田村ビル2階

公益財団法人都市緑化機構 都市緑化フォーラム2019事務局 担当 今井、佐々木

TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195

E-mail : sasaki@urbangreen.or.jp

地下鉄

千代田線【霞が関】C4出口 徒歩5分

丸ノ内線【霞が関】B2出口 徒歩5分

日比谷線【霞が関】B2出口 徒歩5分

三田線【内幸町】A7出口 徒歩3分

■申込み：

申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局までFAXまたはEメールに添付して2019年12月3日までにお送りください。お申し込み先着順で、定員になり次第締め切ります。聴講券は発行しませんので当日、受付にて所属とお名前をお伝え下さい。



ふりがな	
氏名	
勤務先 (所属先)	
メールアドレス	
備考	